

概況

令和4年度の交通基盤部工事等事故件数は、昨年から8件減少し53件発生しました。令和5年4月末現在、工事関係者の負傷等2件（前年同期2件）発生しています。今年度の事故防止重点対策に記載されている事項を中心に各発注機関で取り組みをお願いします。

安全対策の好事例

「若手職員等のための現場確認マニュアル」の作成 （静岡土木事務所 建築住宅課）

現場での安全対策や必要な掲示物などを絵や写真等で視覚的に示したマニュアルを独自に作成し、若手職員等の育成教材として事務所の現場研修などに活用している。

【チェックポイントを記載】

写真と分かりやすい表現で労働災害及び公衆災害防止を念頭に注意点を記載

1) 作業エリアの区分

第三者への被害等防止



工事エリアとそうでないエリアを仮囲いで区画し、第三者が、工事エリアに立ち入らないようにする。

工事エリア

仮囲い

工事エリア外

「目で見える」 建設工事現場確認 マニュアル

【建築関係工事版】

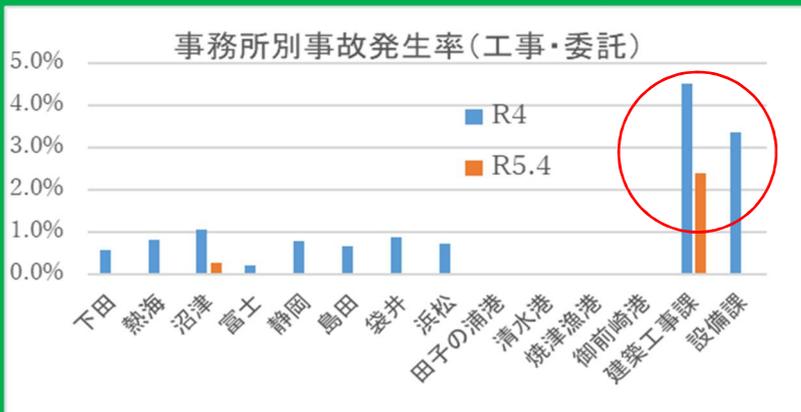
静岡県静岡土木事務所 建築住宅課
令和4年7月

富国有志の理想郷—しずおか
ふじのくに



事故関連データ

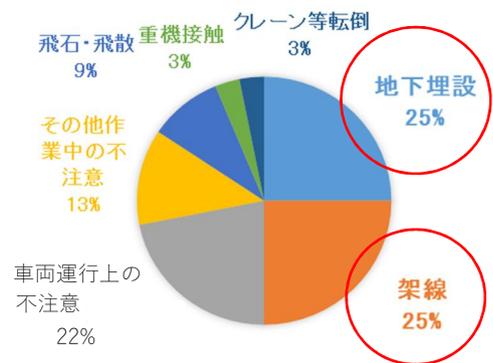
▼ 事故発生率は、建築設備工事が高い状況



※事故発生率 (%) = 事故件数 (件) / 工事・委託実施件数 (件)

▼ 公衆災害は、地下埋設物と架線損傷が半数

R4 公衆災害事故累計別発生状況



A- Press について

『A』は、ずばり安全（Anzen）の A

『A』は、アルファベットの最初の文字

工事等に当たり、安全は最も優先されます。

安全意識の向上と情報共有のために、工事等の受発注者に毎月発信してまいります。

【令和5年4月の工事等事故】

- 1 解体作業中の工事関係者の手の負傷事故
- 2 突風による工事看板飛散による一般車両損傷事故